

事業所名

重心児・医療的ケア児のデイサービスにじい

## 支援プログラム

作成更新日

令和7年

4月

5日

法人（事業所）理念		「子どもと大人の”幸せな日常”を、地域とともに」								
支援方針		保育士、看護師、理学療法士などの多職種が様々な方面からお子様の力を伸ばすため、リハビリや機能訓練に取り組んでいます。3か月ごとにお子様の様子や支援内容について評価し、適切な療育活動を行っています。たくさんの活動や外出を企画し毎日を楽しく過ごしてもらえるよう取り組んでいます。保護者さまやお子さまが困りごとや悩みをいつでも相談できる場所です。								
営業時間		9時	0分	から	18時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支援内容								
本人支援	健康・生活	看護師を中心に、医療的ケアや健康管理を行い、安心して過ごすことができる環境を整えます。バイタルサインチェックや体調観察を行い、必要に応じて医療機関や保護者と連携します。また、経管栄養や呼吸器管理、吸引などの医療的ケア、体位交換、排泄や清潔ケアなどの日常生活の支援を行い、健康状態の維持と生活リズムの安定を図ります。お子さま一人ひとりの体調や状態に合わせ、無理のない活動と休息を取り入れながら、安心して生活できる環境づくりを大切にします。								
	運動・感覚	理学療法士や作業療法士、保育士を中心に、身体機能の維持・向上を目的として、関節可動域訓練やストレッチ、姿勢保持などの機能訓練を行います。また、光・音・振動などの感覚刺激を取り入れた活動を通して、身体や感覚への働きかけを行います。スヌーズレンなどの環境を活用しながら、心地よい刺激を感じながらリラックスできる時間も大切にします。専門職が連携しながら、お子さまの身体状況に応じた安全で無理のない支援を行います。 なお、地域の環境資源として公園や図書館などを積極的に活用していきます。								
	認知・行動	視覚・聴覚・触覚などの感覚を通して、周囲の環境への気づきや反応を引き出す支援を行います。視線の動きや音への反応、触れることによる変化など、小さな反応を大切にしながら、因果関係の理解につながる活動を取り入れます。日々の活動の流れを繰り返すことで安心感を持てるようにし、お子さまが安心して活動に参加できる環境を整えます。								
	言語 コミュニケーション	表情や視線、声の変化などのさまざまなサインを丁寧に受け止め、意思表示やコミュニケーションの機会を広げていきます。スイッチや絵カードなどのコミュニケーションツールを活用する場面もあります。職員とのやり取りや関わりを通して、お子さまが安心して気持ちを表現できる関係づくりを大切にします。また、保護者とも情報共有をしながら、家庭と連携した支援を行います。								
	人間関係 社会性	職員や他のお子さまとの関わりの中で、人との触れ合いや交流を楽しめる機会を大切にしています。音楽活動や季節行事などを取り入れながら、安心できる環境の中で社会的な経験を積むことができるよう支援します。また、一人ひとりのペースを尊重しながら、心地よく人と関われる関係づくりを大切に、家庭とも連携しながら成長を支えていきます。								
家族支援		相談支援事業所、学校や保育園、社会障がい福祉課と連携し、お子様本人やご家族に必要なサービスを考え繋げています。 ご家庭内での困りごとがある場合には、ご自宅や事業所にて相談援助を行います。				移行支援		学校や保育園、関連事業所との連携を通し施設以外の本児の様子も把握した上で、どの環境でも安心して日常生活を送ることができるよう、保護者さまと情報共有を行いながら支援しています。		
地域支援・地域連携		園や学校、医療機関と連携し情報共有を行います。 また支援方法や環境調整等に関する相談援助等の取り組みを行います。				職員の質の向上		児童虐待、身体拘束、衛生管理、感染予防についての研修、送迎における安全管理の研修、避難訓練、緊急対応のシミュレーションを実施しています。		
主な行事等		お花見、誕生日会、夏祭り、遠足、ハロウィン、クリスマス会、初詣、豆まき								